



北海道札幌北高等学校

1 本校の概要

本校は、明治35年（1902年）に創設された北海道庁立札幌高等女学校を前身とし、昭和25年（1950年）に現在の北海道札幌北高等学校と改称、令和4年（2022年）には創立120周年迎える歴史と伝統のある学校です。現在、全日制課程8クラス、定時制課程2クラス（各1学年）で、約1,100人の生徒が通学しています。これまで46,500名を越える卒業生を輩出し、科学、芸術、経済、政治など様々な分野で活躍しています。

全日制課程では、1コマ65分で授業を実施し、それぞれの将来像を見据えて「主体的な学び」に取り組んでいます。ほのぼのの行事や学校祭、体育祭などの行事にも全力で取り組むとともに、9割以上の生徒が部局活動との両立を図りながら、充実した高校生活を送っています。

定時制課程では、働きながら学びたい生徒や不登校を経験した生徒、学び直しの生徒などが高校卒業をめざし、勉強や部活動に励み充実した高校生活を送っています。

2 PTA活動紹介

(1) 全日制課程

「父母と先生の会」の活動は、会長の下、各クラスから選出された学級委員が行事の企画・運営に当たっています。特に中心的な役割を担っているのが、各学年の3名の「学年委員長」で、全体の「副会長」も兼務し、それぞれの学年及び全体の活動・運営に携わっています。主な活動内容は、常任委員会による全体総会及び総会に向けた役員会・運営委員会（4月）や各学年別の総会（5月・9月）の開催、広報委員会による「北高だより」（年3回）・「各学年だより」（年1回）の発行、研修委員会による「見学会」・「研修会」の企画・実施等です。また、石狩支部行事（視察研修・教養講座等）、全道・全国大会等にも学級委員を中心に積極的に参加しています。

今年度は会長が交代し新体制となりました。コロナ禍により総会や運営委員会を縮小して実施したほか、例年実施している「見学会」は中止となりました。学校行事も相次いで中止となりましたが、少しでも生徒の様子を伝えようと、広報では学年レクリエーションの様子を取材したり、部活動で入賞した生徒の声を取り上げるなど工夫を凝らしました。

(2) 定時制課程



学校祭 (R1)

定時制のPTAは年4回の役員会を行っています。

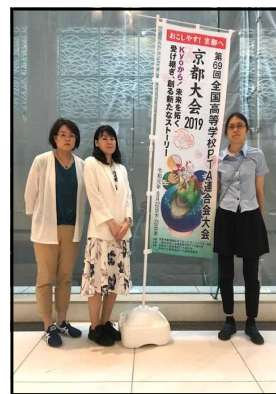
PTA活動で最も大きな活動は、全日制とは別日程で実施している学校祭（北定祭）への協力です。今年度は新型コロナウイルス感染症対応のため中止となりましたが、例年、一般公開日に模擬店を出店しています。PTA役員に加え、保護者の皆さんにもお手伝いとして参加いただき、楽しみながら学校祭を盛り上げています。



見学会（講義）(R1)



全道(胆振・日高)大会 (R1)



全国(京都)大会 (R1)

* 令和2年度は活動の写真がないため、昨年度の行事の写真を掲載しています。ご了承ください。